

Be-News

別府大学のアツい想いをスクープ



別府大学
別府大学短期大学部

NO.122
2021 SPRING

Beppu University, Beppu University Junior College Magazine

研究室訪問
学びのトビラ

クローズアップ別大生

卒業生インタビュー
こんにちは先輩!!

地域連携



特集
ココロを
Reスタート。

立ち止まってココロを考えてみよう



Be-News

編集／別府大学・別府大学短期大学部広報室 発行日／令和3年3月15日 印刷／佐伯印刷株式会社
別府大学・別府大学短期大学部 〒874-8501 大分県別府市北石垣82 TEL.0977-66-6262(広報室)
禁無断転載

f LINE@

真理はわれらを自由にする

Be-Museum



「宴のあと」

月脚 麻里奈（文学部 国際言語・文化学科 芸術表現コース3年）

パーティーや舞踏会をイメージして描きました。
手で触った時の感触や質感が伝わるように表現することを心掛けました。
(油彩 F50号)



大学の知の扉を開く

ここは、大学附属の「知のデジタル情報発信室」です。

知の扉を開き、好奇心の旅に出てみませんか。

知との出会いは、自分を変え成長させる時間です。

別府大学は、みなさんの知の体験旅行のお手伝いをします。

別府大学・別府大学短期大学部 オープンエデュケーションルーム

別府大学では、大学70周年を機に、建学の精神を踏まえ、2020年10月から既存のシステムとも連動し、大学ホームページ上に「オープンエデュケーションルーム」を立ち上げ、教育公開の観点から大学知のリソースのデジタル公開を開始しました。

別府大学の知のリソースを多くの方々に共有していただき、大学の教育・研究の魅力、楽しさを知つていただきたいと思います。学生は自習のため、高校生は大学の知の探訪、一般・社会人の方々には、生涯学習の場としてご利用をいただくことを期待しています。



Be-News NO.122 CONTENTS

3 特集	ココロをReスタート。
7 別府・温泉・大学	2021別府大学卒業制作展
8 学科からのトピックス	朝は必ず来るよ 尾畠春夫さんからのエール
12 別府大学卒業制作展	キャンパスボイス テーマ／この1年で気づいたこと、発見したこと
13 尾畠春夫さんからのエール	研究室訪問 学びのトビラ 短期大学部 食物栄養科教授 海陸留美
14 キャンパスボイス テーマ／この1年で気づいたこと、発見したこと	クローズアップ別大生 趙佳琳 (文学部 国際言語・文化学科 令和2年度卒業)
15 研究室訪問 学びのトビラ 短期大学部 食物栄養科教授 海陸留美	Be-Recipe かぼすブリ味噌漬け丼 土居優香 (短期大学部 食物栄養科 令和2年度卒業)
16 クローズアップ別大生 趙佳琳 (文学部 国際言語・文化学科 令和2年度卒業)	別大生の御用達 ラーメン暖暮別府店 長谷智子さん (短期大学部 初等教育科卒業)
17 地域連携 インフォメーション	卒業生インタビュー こんなにちは先輩!! 梅本弥生さん (文学部 芸術文化学科 絵画表現コース卒業)
18 Be-Recipe レシピ スポーツ振興会	サークル紹介 特別編 スポーツ振興会
19 サークル紹介 特別編	
20 卒業生インタビュー こんなにちは先輩!! 梅本弥生さん (文学部 芸術文化学科 絵画表現コース卒業)	
21 地域連携 インフォメーション	
22 地域連携 インフォメーション	
23 地域連携 インフォメーション	

2020年は激動の1年でした。
自粛生活、大学の休校、オンライン授業の開始…。新型コロナウイルスの影響によってキャンパス生活が大きく変わり、ココロが疲れていますか？蓄積した疲れや不安は、せんか？

ココロの持ち方で見方が変わります。新型コロナウイルス感染症の収束には、まだ時間がかかりそう。こんな状況だからこそ、ちょっと立ち止まってココロについて考えませんか？

立ち止まってココロを考えてみよう

特集 ココロをReスタート。

2020年は激動の1年でした。

自粛生活、大学の休校、オンライン授業の開始…。新型コロナウイルスの影響によってキャンパス生活が

大きく変わり、ココロが疲れていますか？

せんか？

蓄積した疲れや不安は、せんか？

ココロの持ち方で見方が変わつ

ります。新型コロナウイルス感染症の

収束には、まだ時間がかかりそう。

こんな状況だからこそ、ちょっと立ち

止まってココロについて考えませんか？



ココロのトピックス

人間関係学科の

「ココロのスペシャリスト」が、ココロについて語ります

心理学における

ココロとは

幼い子どもに「ココロはどこにあるの?」と聞くと、心臓を指さす子どもが多いです。大学生に同様の質問をするとき、頭(脳)を指さす人が多いです。ココロの漢字の由来は諸説ありますが、心臓の形を表しているとも言われています。では、ココ

ロはどうにあるのでしょうか。

著名な精神科医である神田橋條治先生は、「ココロの所帯の振動によって生み出され在を「声」に例えて、声とは声るもので、実体はないが確かに存在するものとし、ココロは脳によって生み出され、実態はないが確かに存在するもの」と説明されています。ココロ自体は決して見ることも触れるこどもできないにもかかわらず、

夢見るココロ

人間は生後9ヶ月で、自分とは違う動きをする他の人のココロの存在に気づくと言われています。実態のないココロを、様々な方法で探求する学問が心理学です。心理学は「心の科学」と言われており、ココロの動きが見える化する「行動」や、見える化どころか普段は意識することも難しい「無意識」も対象にする学問なのです。



人間の記憶はどれだけ持つのでしょうか。一週間も経てば、10%以下になります。新しく記憶されるにつれて、どんどん過去の記憶はなくなります。パソコンだって、古いファイルが溜まるとデリートしなければ、新しいものは貯蔵できません。そうなると、何年か経てば、人は全く新しい人間になってしまいます。

そんなことはありません。人間が経験したことは脳のどこかに保存されているのです。人間が生きていく時、楽しい

動物のココロと
人のココロ

動物にココロはあるか、という問い合わせは人のココロとは何か、と同じように古くから人々の中で関心の対象となっていました。そしてこの問い合わせは、人間とは何か、また動物とどのように違うのか、という問い合わせています。

動物を飼ったことがある人は、犬や猫にココロがあると考へているでしょう。そして私たち人間にもココロはあると理解していることと思います。

人のココロはどこにあるか、どういった問いに人々は脳が関わっていることを理解していきます。ココロの研究過程では、犬や猫、ネズミなどが貢献して多くの知識を得ました。犬や猫の脳、鳥、魚、アメーリアなど様々な動物を研究し、ココロとそれに関係する様々な機能の研究もなされています。また、動物において無気力やうつ、さらには認知症といつたわゆるココロの病も観察されています。

人間のココロの不思議さは、人間の記憶が無意識に残つていて、意識とは別の作用をするからなのです。

昔の記憶が残っている証拠があるのです。それが「夢」です。健康な人なら夢は毎日みているのです。実は夢は睡眠を保護するので、メンタルヘルスの要素です。それにしても夢はわかりにくいですね。そのわりにくさを解明した人が精神分析者のフロイトで、今から120年前、「夢判断」という本を出しました。これによって、普段意識していない「無意識」がわかったのです。

人間のココロの不思議さは、人間の記憶が無意識に残つていて、意識とは別の作用をするからなのです。

比較心理学や比較認知科学、神経科学では、人間のココロと動物の「ココロ」を比較研究することで、ココロがどのようにして進化して、発達したのかを知ることができます。私たちのココロをどのように定義し、ココロの問題の解決方法を探しています。

ある日の夜、サクラさんとツバキさんは親から「明日の試合がんばってきなさい」と声をかけられました。サクラさんは、うれしくなつて「ありがとう」と答えてしまつてぐっすり眠りました。ツバキさんは、うなずいたもののどうやってがんばればいいのだろうかと混乱し、全く眠ることができませんでした。ツバキさんのココロが傷ついてしまつたようです。このように、他者からの声かけはそのままのココロの状態によって反応が異なります。

ココロの状態は、その人の性格で決まると言えがちですが、実際に学んでみてください。

は、経験、周囲のサポートなど様々な要因が影響します。ツバキさんは、強気な性格ですが、はじめて試合に臨むためどうしたら良いのか悩んでいました。親からの声かけは、更なるプレッシャーとなつてしまつたのです。ツバキさんの状況を理解した上で「いつもの強気なあなたで試合に臨んだら上手くいくよ!」と声かけをしたらココロは傷つかなかつたかもしません。一方、サクラさんは引っ越し思案な性格ですが、「親からの応援」と考えてよしがんばろうと思つたのです。

ところで、ココロが傷つくどんな反応になるでしょう? ほとんど多くは、「食欲がなくなつた」「眠れなくなつた」「頭が痛くなつた」のように体の反応がみられます。いつもと違う体の変化は、ココロが傷ついている目安になります。つながらつては、ココロと体はつながつてはいません。ココロと体論と呼ばれています)、傷ついたココロを回復させるための方法として体を休めることは役に立ちます。マインドフルネス、リラクゼーションなどココロを回復させ

病むココロ

「（心が）病んでいる」と日常でいう時、皆さんは、どうにもこうにもやる気がでない、気が沈んでいることあたりをいうために用いているかも知れませんが、実際の「病み方」はもっと多様です。あまりにも多様で、不思議で、心理の奥深さはここから感じることもできるでしょう。

電車に乗っていると不安が高まり胸が苦しくなつて

例えば、



立つていられなくなる
もういらないかもと思いつつ
モノが捨てられず部屋が
ゴミでパンパンになつていて
小学生の時から何度も音読
をしてうまくやれない

みんなは、これらに対し
少しでも知つてることは
ありますか。

もし自分がそういうふうに
「病んだ」時、そういう「病（や
まい）」があること、その病の過
成り立ち、治つていった人の過
程を知つていたら、気持ちの持
ちようもだいぶ変わるでしょう

ココロはどうやって立ち直る

自分はこうありたいのに、現実ではそうではないということがあるでしょう。このようないくつかの原因があります。

自分と経験の不一致、つまり自己と経験の不一致、つまりギャップから悩みや不安が

うし、どう行動したらよいのかの指針もたつことでしょう。周囲の大切な人がそういうふうに「病んだ」ときは、その人にどう接したらいいか、ヒントもみえてくるかもしれません。

公認心理師や臨床心理士等の心理の専門職は、日々勉強、訓練を重ね、自分の知識や体験や技術を総動員して、そうした病める人の支援をします。心理職は薬を使いません（使えない）。それでも病める人が治つていく過程を支えることができ、その人が自分で応援できるのは、心理の専門職の大きな大きなやりがいです。

カウンセラーはクリニックを心から尊重し、積極的傾聴によってクリニックの話と気持ちを共感的に理解しようとします。アドバイスもむやみにしません。カウンセラーも自分に正直で誠実でいます。そのようなカウンセラーと出会い、関係が深まっていく中で、クリニックは本当の自分に触れることができるようになりますし、自分の考え方や感情に確信が持て、不安が減り、自己成長をすることができます。自分を苦しめていたギャップがなくなり、本来の力や希望が湧いてくるのです。

別府“温泉”大学 BEPPU湯NIVERSITY

「前田温泉」清掃活動スタート!!!

共同温泉の存続に
別大生が貢献!

別府市内には、地元の地区や組合が管理する共同温泉が80か所近くあり、地域のコミュニケーションの場になっています。しかし、近年、管理者の高齢化や利用者の減少などから閉鎖する共同温泉も増え、年々その数は減少しています。

そのような中、2020年10月3日（土）に本学で実施した「温泉学概論」の講義で、別府八湯温泉道名人会の佐藤正敏理事長より、別府の共同温泉の現状についてお話をいただきました。

講義の中で、大学近くの共同温泉「前田温泉」も閉鎖の危機となり名人会が管理・運営を引き継ぐことになったと話され、浴室の清掃アルバイトの募集を学生たちに呼びかけたところ、講義後3名の女子学生がアルバイト参加を名乗り出してくれました。その後も、希望学生が集まり、現在約10名の学生が日々清掃を行っています。利用水の方からは「前田温泉がなかなかなくて、ほんとうによかつた。学生がお掃除をしてくれて助かります」との声をいただきました。

共同温泉は、別府ならではの温泉文化です。学生たちの活動が前田温泉継続の一助となるよう、別府“温泉”大学もサポートしていきます!!

冬至イベント「さぼん湯」!

12月21日の冬至に、「さぼん湯」を開催しました。

さぼんは別府名産の柑橘で、別府土産「さぼん漬け」の原料として、市営の農園で栽培されています。今回、市営さぼん園に協力いたしました。



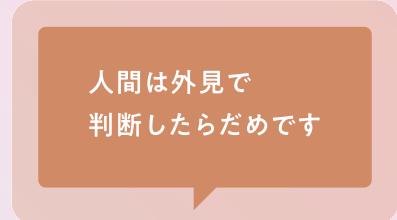
「前田温泉清掃活動報告会」とおせつたい

11

月26日の「いいふろの日」に在学生や前田

温泉の組合の方々など地域の方々に参加いただき、「前田温泉清掃活動報告会」を開催しました。

前田温泉清掃グループを代表して、史学・文化財学科1年の宮田風花さん、市來友梨さん、国際言語文化学科1年の川口玲奈さんが、日頃の活動について発表をしました。また、おせつたいでは、市内和菓子店「茶郎本舗」とコラボした「別府温泉」大学どら」を配布しました。



人間は外見で
判断したらダメです



夢を持ったら、先が
ぶわ～っと広がります

夢がないと先が細り、なんで俺
はこんないやな世の中に生まれ
たんやろうと思う。夢を持つと
「うれしい～、母ちゃんありがとう」
って思って、毎日が楽しいです。
今日はここまでやったけど、
明日はもっと楽しいことやろう、
勉強しよう、おいしいもの食べよう、困っている人がいたら手を差し
伸べて「お手伝いしましょうか?」
と声をかける清いココロになる。
私は「朝は必ず来るよ」と言葉が好きなんです。



モノは有限、知恵は無限

モノは使ったら終わりです。
知恵は使ったら使っただけ、湧き水みたいに湧いてくる



**尾畠春夫さん
プロフィール**
1939年生まれ。大分県日出町在住のボランティア活動家。65歳まで別府市で鮮魚店を営む。隣屋にしてくれたお客様だけでなく、地域のみなさんへ恩返ししたとボランティアを始める。由布山の登山道の整備や被災地での支援活動に尽力。2018年山口県で行方不明となつた2歳の男の子を無事救助し、一躍時の人となる。80歳を過ぎても、軽パンに荷物を積んで各地で活動している。



今は、一に勉強、
二に勉強、三、四がなくて、
五に勉強してください



ボランティアは
自己責任、自己完結。
それが大事



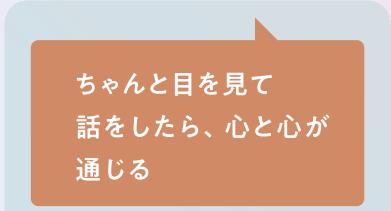
朝は 必ず来るよ

尾畠春夫さんからのエール

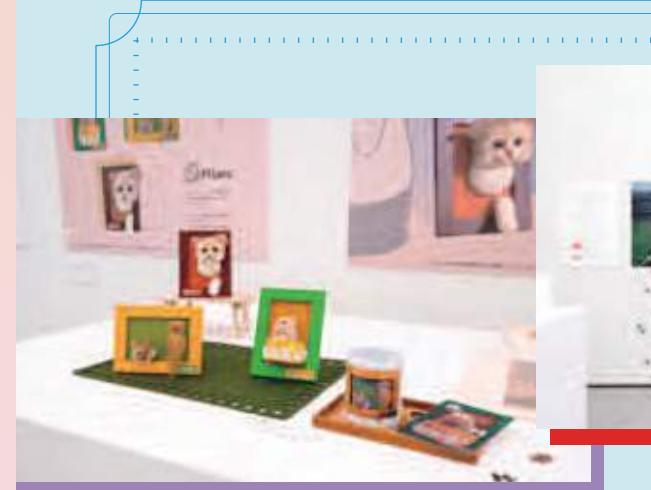
2020年11月14日(土)、「九州学」の講義の一環で、ボランティア活動家の尾畠春夫さんをお招きして、ボランティア実習を行いました。土壌の作り方や積み方などを教えるながら尾畠さんが学生に語った言葉は、新しい時代を生き抜くメッセージでもありました。



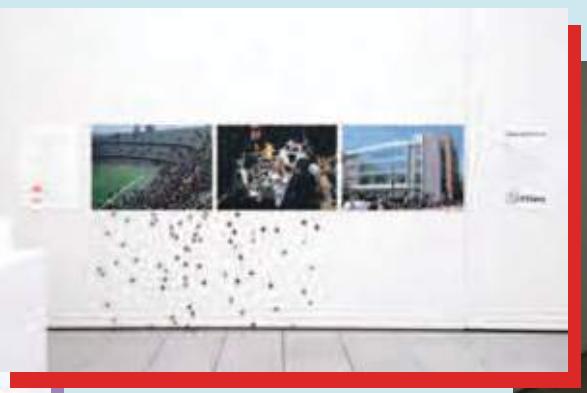
振り向かない、立ち止まらない、
座り込まない、まっすぐ自分を
信じて前へ前へ進んでください



ちゃんと目を見て
話をしたら、心と心が
通じる



菅 華蓮『Filare(フィラーレ)』デザイン



管 師彩『日常』デザイン



姜 熙盛『scented(センチード)』
アニメーション(5分24秒)

2021 別府大学 卒業制作展

2021年2月9日(火)～14日(日)、
大分県立美術館にて「2021別府大学
卒業制作展」を開催しました。

文学部国際言語・文化学科の絵画、
デザイン、マンガ、映像・アニメーション
の各領域で学んだ学生たちが、4年間
の表現研究の成果を発表しました。
また、美術史を学んだ学生の優秀な
論文の概要も併せて展示しました。



本島 風人『連』油彩 116.8×273cm



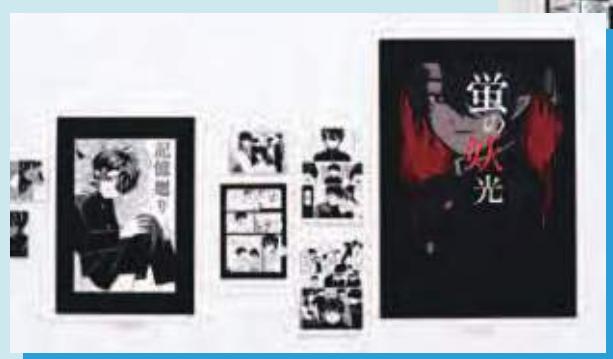
匹田 楓子『蓮畑』日本画 130.3×486cm



柏 大輝『　』油彩 S100号



今回はこの4年間に
地域交流の一環で
学生が取り組んだ
アートプロジェクト
や、自治体や企業との
連携の取り組み
も紹介しました。



伊藤 涼子『螢の妖光』ストーリーマンガ



轟 翔太『巫覡波乱記』
ストーリーマンガ



短期大学部 食物栄養科 教授
海陸 留美
Rumi Kairiku

研究室訪問 学びのトビラ Vol.14

別府大学の学びの最先端をレポートします。

プロフィール

1975年3月生まれ、香川県出身。管理栄養士。健康咀嚼指導士。離乳食アドバイザー。1999年川崎医療福祉大学大学院医療技術学研究科修士課程修了。修士(臨床栄養学)。専門は臨床栄養学、栄養教育。大学院修了後、川崎医科大学附属病院に管理栄養士として勤務し、給食管理と栄養指導を担当。2003年より本学に着任し現在に至る。



毎年、卒業生から贈られる寄せ書き。時々眺め、元気をもらっているそう

食べるひとに寄り添い、心のこもった食事を提供できる栄養士を育てたい

管理栄養士の教員として
できること

大学病院で特別治療食の給食管理や患者に対する栄養食事指導を行った経験を活かし、授業では臨床栄養学実習、給食経営管理実習等を担当し、病気の方に対する食事療法や治療食の献立作成、調理の手法、給食管理を教えています。また、最近は保育園、子ども園等に就職を希望する学生が増えましたので、乳幼児期の食事と栄養について勉強できる科目を新しく設け、子どもの栄養管理に強い栄養士を養成するようにいたしました。そのため、自ら離乳食アドバイザーなどの資格を取り、離乳食や幼児食について日々勉強しております。新しく「子どもの食

学生へのメッセージ

学生さんが思い描く「良い栄養士」は、献立作成や調理がテキパキできる温泉(別府八湯)の泉質の違いを生かす。また、「おんせん県おおいた」での栄養学の研究

～ Other sides of Rumi Kairiku～



①研究会学生と作った温泉介護食のレシピ集。介護食のテクスチャーも測定して掲載しています ②1年後期の授業で行う学生レストラン。毎年、学生が美味しい料理を作り接客しています ③3歳の娘がすみっこぐらしに夢中。帰宅後は毎日アクアピースを作られています ④仲良しの職員にいたいた多肉植物を大切に育てています

添い、心のこもった食事を提供できる栄養士を目指してもらいたいと思います。栄養士が毎日ルーチンワークで作っている食事。でも、食べている方にとってその食事が野菜嫌いを克服するきっかけになる食事かも知れない。人生最後の食事になるかもしれない、そんな特別な食事になっているかもしれませんよ。

日々の調理実習や学生レストランでの食事作りを通して、高校ではなかなか学べなかつた協力することの大切さを学ぶことができました。

4年 萩 真
(大分県立別府翔青高等学校出身)

2年 大土 ほの香
(大分県大分高等学校出身)

去年簿記2級を取り、弾みをつけたおかげで、コロナ禍でも会計の勉強を進めることができ、最近は宅建やFP(ファイナンシャルプランナー)資格にも目が向いてきました。

2年 堀 暁綾
(大分県立芸術緑丘高等学校出身)

4年 園田 詩
(宮崎県立延岡星雲高等学校出身)

3年 福本 都
(福岡県中村学園女子高等学校出身)

4年 上山 薫
(宮崎県都城高等学校出身)

2年 渡辺 拓己
(大分県立日出総合高等学校出身)

キャンパスボイス
Campus Voice

テーマ
ちょっと、聞かせて♪別大生に突撃インタビュー
この1年で気づいたこと、発見したこと

今年は新型コロナウイルス感染症が世界中に蔓延し、皆さんの大学生活にも大きな影響を与えました。コロナ禍の自粛生活中の出来事や、学生生活の変化、人間関係等、新しく気づいたことや発見したことがあつたはずです！別大生にインタビューしてみました！

自粛生活が苦しくなってきた時、両親や地元の人達から仕送りやマスクなどの必需品をいたいで涙が出るほど嬉しかったです。

日常の大切さと友人関係が大事だと気づきました。この1年色々な変化に慣れるのが大変でしたが、友人の影響でプラス思考になりました。

※参加者の学年は令和3年度4月時点のものです。

Closeup!

別大生

キラリと輝く別大生を
紹介します。

※学生の情報は令和3年度
4月時点のものです。

“食べることが大好き” その原点を軸に羽を広げ 走り抜けた2年間

2年連続で成績優秀奨学生に選ばれ、研究やレシピ開発など何にでも真剣に向き合い結果を残した土居優香さん。地元の愛媛県を離れて過ごした学生生活について想いを語ってもらいました。

出身地である愛媛県内の学校ではなく 本学へ進学したきっかけはなんですか？

私は子どもの頃から食べることが大好きで、いつかお店を持ちたいと憧っていました。進路を決める時「調理師だけでなく栄養士の資格があるといいかも」と、親のアドバイスを受けたのが栄養士を目指すきっかけとなりました。地元から出たい気持ちもあり県外の学校を探していた時に、本学の情報を見つけました。先生方のアイデアや発想が豊かで、とてもおもしろい授業を受けられました。

先生との共同研究やレシピ開発など 多方面で活躍しましたね

食物栄養科の先生と共に『スponジの新しい殺菌方法について』を研究しました。スponジに菌を付着させた後、「そのままにする」「水洗いする」「洗剤をつける」「次亜塩素酸水につける」「電子レンジで加熱する」と、それぞれ菌の量がどうなるのかを調べるものでした。実験は細かい作業が多く、手順を覚えるのが大変でしたが、先生の指導を受けながら進めました。結果、一番高い殺菌効果があったのは電子レンジでした。研究結果を大分県の栄養士学会で発表予定でしたが、新型コロナの影響で中止。代わりに学内で発表する機会を与えていただきました。

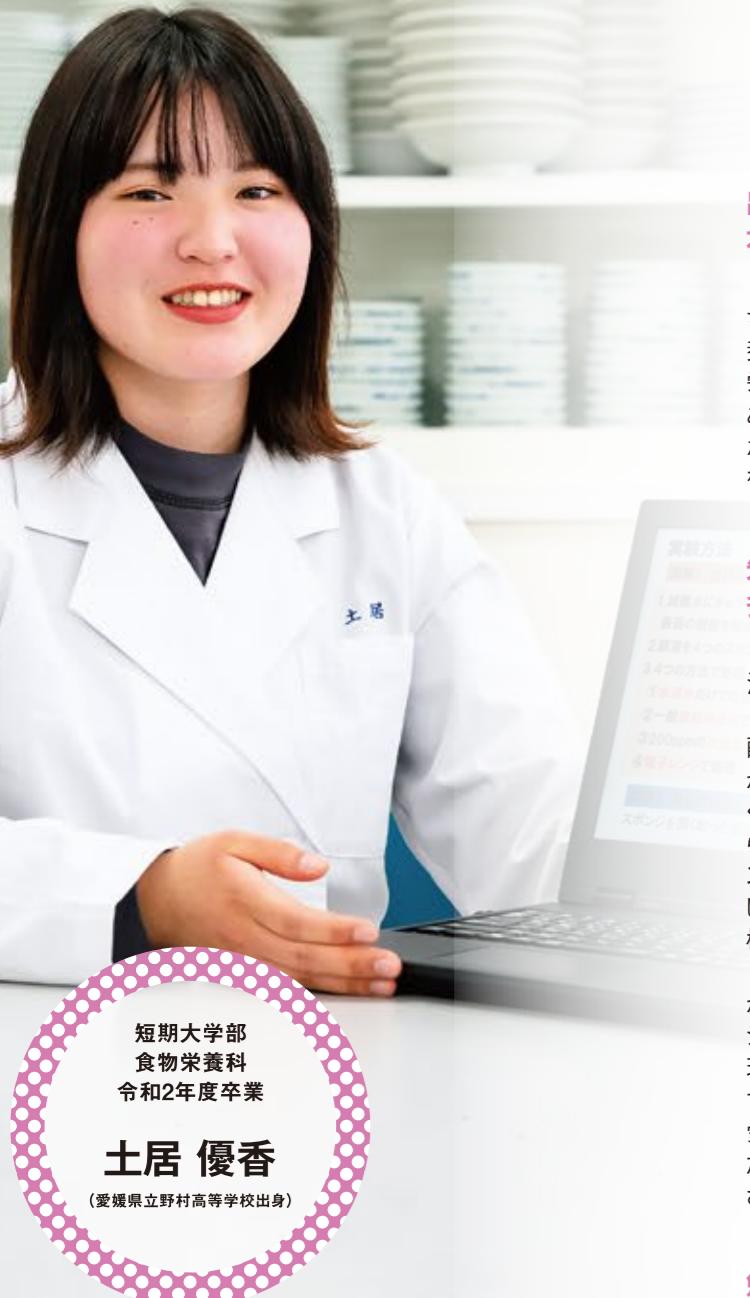
研究以外では調理実習に力を入れました。一人暮らしですがあまり自炊しないので、授業ではきちんとしようと思って。シュークリームやパン作りなどは難しかったです。給食経営管理実習でガーリックステーキを作ったのが印象に残っています。数え切れないほど、たくさんの実習をしました。ほかにも、愛媛県の鯛茶漬けと大分県の鯛茶漬けから連想し、味噌を加えて開発した「かぼすブリ味噌茶漬け」がコンテストで採用されるなど、レシピ開発も頑張りました。(レシピをP18で紹介)

勉強以外で思い出深いことはなんでしょうか？

入学してすぐは県外から来たこともあり、馴染めるか不安でした。友達ができるからは本当に楽しかったです。全体的に仲が良く、グループはあってそれを超えた交流があった学年でした。アルバイトや学校の課題で忙しい毎日でしたが、友達に恵まれた学生生活だったと思います。卒業するのがさみしいです。

卒業後にやりたいことを教えてください

愛媛県に戻り、施設での栄養士として勤務することが決まっています。私は食べることが大好きなので、勤務先である施設の利用者の方にも食事を楽しんでもらえる栄養士になりたいです。そして働きながら、管理栄養士の資格取得を目指しています。



短期大学部
食物栄養科
令和2年度卒業

土居 優香

(愛媛県立野村高等学校出身)



「成績優秀奨学生」に選ばれ表彰されたときの様子



大好きな同級生たちと遊び、楽しい思い出がたくさんできました

日々の積み重ねで難関突破 あふれる日本語愛で 教育環境の改革を目指す

合格率3割弱の難関試験「日本語教育能力検定試験」を初受験で合格した、台湾出身の趙佳琳(チョウカリン)さん。日本語マニアだと公言する趙さんに頑張りの原動力や、来日のきっかけを聞いてみました。

日本の大学に進学しようと思った きっかけはなんですか？

中学生の時に観た日本のアニメで、日本語の発音と語尾に興味を持ちました。「～ね」「～よ」など、キャラクターによって変わる語尾がおもしろいです。漢字に比べて丸いフォルムの「ひらがな」がかわいくて好きになり、独学で覚えました。中国語は事実を伝える言葉、日本語は感情表現が豊かな言語だと思っています。台湾では5年間、高校で日本語を学んだ後、貿易会社に就職。その後、大好きな日本語と絵の両方を学べる別府大学に進学しました。

日本語スピーチコンテストにチャレンジしましたね

緊張しやすい性格を克服するため出場しました。大勢の前でスピーチを披露し、その経験のおかげで1年間の実技実習も乗り切れたと思います。勉強した知識を実践で披露し、楽しい時間でした。

難関の「日本語教育能力検定試験」はどうでしたか？

最初はとても難しくて、合格なんて無理だと思っていたんです。けれど丁寧に教えてくれる先生のおかげで、少しづつ理解できるようになりました。授業資料をしっかり読み込み、積み重ねることで実力が付きました。参考書がひとつ終わるごとに「自分へのごほうび」を作る工夫もしました。勉強もできるし、欲しいものも手に入るし、いいことづくめです。

大学生活について教えてください

日本人の友達ができたことが何より嬉しいです。高校時代、交換留学で日本に滞在した時は、緊張して友達ができませんでしたが、今は自分から声をかけて友達になり、日本人の生活により近づけた気がします。教科書には載っていない方言を教わったり、台湾では必ず火を通して食べるちくわを生で食べたりして。

今後の予定と、在学生へのメッセージをお願いします

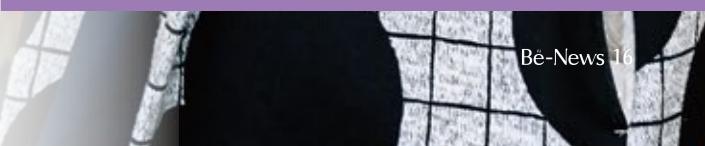
卒業後は台湾に戻り、現地の友達とゆっくりした後、日本語教師として働く予定です。ゆくゆくは台湾の日本語教育環境を変えられるような仕事ができればと思っています。日本語が好きで教師になるので、同じ日本語好きの人に教えられたら嬉しいですね。私は台湾で一度就職し、日本の大学に入学したからこそ、学生時代しかできないことの多さを実感しています。学生のみなさん、今のうちにやることは思う存分やったほうがいいと思います。そして、勉強は後に力となるので、しっかりすることをおすすめします。学生生活を楽しんでください。



新型コロナ流行前は、友達と県外を旅行しました。かけがえのない時間です



日本語スピーチコンテストの様子。大勢を前に発表し、胸がつきました





スポーツ振興会

11月1日(日)、ビーコン・プラザで開催された「マーチング・カーニバル」別府2020のオープニングパレードに、本学のスポーツ振興会所属の学生100名が運営ボランティアとして参加しました。

2019年から始まったこのイベントはコロナ禍にもかかわらず規模を拡大して、開催されることになり、これに伴って昨年の50名からボランティア人員も増員されました。これまでスポーツ振興会は、W杯サッカー、ラグビー、国体などの大規模イベントにも、組織力を生かしてボランティア要請に応えており、今回も100名を動員し、会場へ駆けつけました。

オープニングパレードは、別府市の富士見通り(ゴールバルタワー前 富士見通り別府公園東駐車場)の公道を封鎖し、およそ800mにわたり県外招待団体を含め13団体が行進しました。そのパレードと沿道の観客を整理し、行進ガスマーズに行えるよう気配り



出場チームの先導や沿道の観客の整理など、イベントのスムーズな進行をサポートしました。

サークル紹介

特別編

「マーチング・カーニバル in 別府 2020」運営ボランティアでスポ振が大活躍!

11月1日(日)、ビーコン・プラザで開催された「マーチング・カーニバル」別府2020のオープニングパレードに、本学のスポーツ振

興会所属の学生100名が運営ボランティアとして参加しました。

2019年から始まったこのイベントはコロナ禍にもかかわらず規模を拡大して、開催されることになり、これに伴って昨年の50名からボランティア人員も増員されました。これまでスポーツ振興会は、W杯サッカー、ラグビー、国体などの大規模イベントにも、組織力を生かしてボランティア要請に応えており、今回も100名を動員し、会場へ駆けつけました。

オープニングパレードは、別府市の富士見通り(ゴールバルタワー前 富士見通り別府公園東駐車場)の公道を封鎖し、およそ800mにわたり県外招待団体を含め13団体が行進しました。そのパレードと沿道の観客を整理し、行進ガスマーズに行えるよう気配り

快感と溢れ出す充実感がみなぎっていました。コロナ禍で、うんざり避けつつ観客の楽しみを阻害しないという難しさがありましたが、全員が張り切って自分の役割を果たしました。

「コロナに負けるな!」を合言葉に開催された今年のこのイベントは大成功に終わり、ボランティアに従事した学生の姿には清々しい爽快感と溢れ出す充実感がみなぎっていました。コロナ禍の三密を避けつつ観客の楽しみを阻害しないという難しさがありましたが、全員が張り切って自分の役割を果たしました。

「コロナに負けるな!」を合言葉に開催された今年のこのイベントは大成功に終わり、ボランティアに従事した学生の姿には清々しい爽快感と溢れ出す充実感がみなぎっていました。コロナ禍の三密を避けつつ観客の楽しみを阻害しない伝統を受け継ぎ、このコロナ禍でもしっかりと健在です!

かぼすブリ味噌漬け丼



材料(4人分)			
米 320g	かぼすブリ(刺身) 280g	赤味噌 40g	小ネギ 4g
Ⓐ 酒 大さじ2 生姜 40g	濃口しょうゆ 小さじ4 わさび 小さじ1	酒 大さじ4 砂糖 大さじ1	酒 大さじ5 緑茶 お好み

Be-Recipe レシピ
作って、食べて、元気になろっ♥

味噌に含まれる麹菌や乳酸菌は腸の働きを活発にしてくれます。緑茶には抗菌作用があるため、ウイルスに負けない健康な体を目指すことができます。

作り方

- かぼすブリは、Ⓐ(合わせておく)をふり、5分おいてⒷに漬ける
- 小ネギは小口切りにする。
- 米を洗い、Ⓐを加えて、水を減らして炊き上げる。
- 器に③を盛り、①をのせ、②と刻みのりを添える。
- 緑茶をお好みでかける。

Point

醤油のたれに漬け込むりゅうきゅうを、味噌に変えてアレンジしました。ブリは、大分県の佐伯市や臼杵市などでどれ、「かぼすブリ」がおすすめ。

別大生の御用達



「ラーメン暖暮」監修のカップ麺も登場し、スーパー やコンビニでも「暖暮」の名前が並びました

実はこの「ラーメン暖暮」の創業者片田康二さんは別府大学の卒業生!! 平成12年、兄弟で二日市に最初の店舗をオープンして以来、福岡、大分、宮崎、鹿児島、沖縄の九州各地から、東京、静岡、神奈川と関東へと出店し、さらに、オーストラリア、カナダ、アメリカ、ベトナムと海外進出も果たしています。昨年秋には、オーストラリアに5店舗目がオープンし、国内外で38店舗を開拓しています。

別大周辺のちょっといいお店「別大生の御用達」は、オーストラリアに5店舗目がオープンし、国内外で38店舗を開拓しています。昨年秋には、オーストラリアに5店舗目がオープンし、国内



暖暮 別府店

別府市石垣東10-1-30
TEL 0977-84-7666

■営業時間
平日:11時~23時
土・祝前日:11時~24時
■年中無休
■Pあり



片田兄弟が生み出した九州の味は、全国そして世界で愛されています。お近くの店舗で「ラーメン暖暮」の味をぜひご賞味ください!!



味がしみ込んだ煮玉子が人気の「煮玉子ラーメン」

ラーメン暖暮 別府店



卒業生インタビュー

こんにちは先輩!!



 **佐伯市立畠野浦保育所**
保育士
長谷 智子さん
短期 大学部 初等教育科
平成24年3月卒業



人として保育士として、
子どもたちと一緒に
成長していきたい

予想外の事
がいろいろ
と起きるので
大変で、
た。所属して
いた「ま
現あそび研
究会」では

短大時代に公演したオペレッタ『大きなかぶ』の一コマ。オレンジ色の衣装が長谷さん



短大時代に公演したオペレッタ『大きなかぶ』の一コマ。オレンジ色の衣装が長谷さん

佐伯市蒲江の「畠野浦保育所」。目の前に青い空と海が広がる、海辺の小さな保育所です。子どもは全員で14名で、長谷さんは3・4・5歳児のクラスを担当しています。「赴任して一年目ですが、ここは良い意味でのんびりしていますね。子どもたちもすごく穏やかです。少人数ならではの大変さもあるけど、子どもたち一人ひとりに目が行き届くので、毎日みんなと楽しく過ごしています」と、さわやかな笑顔をこぼします。

小さい頃から子どもが大好きだつたという長谷さんは、保育士を目指して短期大学部の初等教育科に入学。講義・実習・研究会がぎっしり詰まつた、充実した2年間を過ごしたといいます。「とにかく実習がたくさんありました。講義で学んだことを実習先の保育所や幼稚園で実践しようとするんですが、現場では

員を2年経験した後、故郷の佐伯市職員採用試験に合格。市内各地の保育所や幼稚園で働き、多くの子どもたちと出会ってきました。昨年の10月にご結婚されて、仕事もプライベートもさらに充実しているようです。「今まででは保育士の目線だけだったけど、これからは保護者の目線にも近づけるのかな」と思っています。まだ子どもはいませんけど（笑）。仕事のスキルに人生経験が加わって、より良い仕事ができる。それは多くの職業にいえることで、ですが、子どもに接する保育士はその最たる職業かもしれません。小さな笑顔に囲まれながら、今日も「はせせんせー」の明るい声が海辺の保育所に響きます。

梅本 美術研究所代表
文学部芸術文化学科絵画表現コース
2年生



すべてを受け止めてくれる
懐の深いアートの楽しさを
もっと広めていきたい

扇山のふもと、大きな木に囲まれた山小屋のような「梅本美術研究所」は、120人以上の子どもたちが通う美術教室です。主宰の梅本弥さんは初等教育科を卒業後、小学校勤務を経て、12年間ホテル業に従事。36歳で仕事を辞め、絵の基礎を勉強するため、今度は大学の芸術文

作品は絵画だけではありません。さまざまな素材を使って何ができるか、生徒と一緒に考えて作品づくりを進めます

「在学中のアトリエで過ごす時間
が、この上ない幸せでした。アートって
こんなにも心を豊かにしてくれるんだ
と感動し、それを周りの人にも伝えた
いと思ったのが今に至るきっかけです」

梅本さんは現在、障がい者の社会
生活を支援する就労継続支援B型
施設「Y-H2020（ユーハー）」の
活動にも力を注いでいます。知的障
がいを持つお姉さんがいたため、以前
から何かできないかと考えていたそ
うです。障がい者への理解は進んでいる
ものの、まだまだ足りないのが現状。

さん。「美術や数学、どんな教科でも、苦手意識のさらに先にあるのが、嫌いになる瞬間。それをなくし、心が折れずに進められる手伝いをしています」。梅本さんの熱い想いと優しい眼差しのもと、これから多くの子どもたちがアートの楽しさに目覚め、作品を生み出す」とひしょく。



以前は、喫茶店・ギャラリー「くれよん」として親しまれていた建物。梅本さんも自身の作品を販売していました

INFORMATION



平成16年3月に、別府市、別府商工会議所、学校法人別府大学の三者で包括連携協定「別府市まちづくり連携協定」を交わしています。今回この協定を発展させたため、令和2年10月26日、別府市と別府商工会議所、別府大学・別府大学短期大学部の三者で「湯のまちべっぷ協働推進協定」を締結しました。国際観光温泉文化都市の特性を生かし、別府の発展の新たな起爆剤となるよう、三者一体となって協働事業に取り組んでいきます。その最初の取り組みとして、市職員、市内観光関係者を対象とした「湯のまち観光人材育成プログラム」を実施しました。

「大分県フグ処理講習会」で留学生が初合格!!

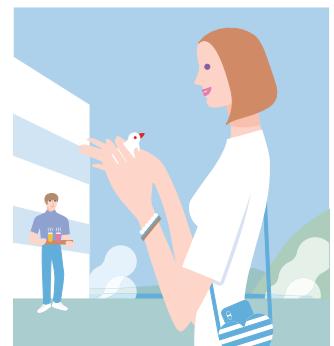


大分県を代表する海の幸であるフグの調理に必要な「ふぐ処理登録者」の免許取得を目指し、本学食物栄養科学部の学生17名が、「令和2年大分県フグ処理講習会」を受講し、全員が合格しました。今回、中国出身の留学生で食物栄養科学部発酵食品学科2年の徐怡恬（ジョイ・ンさん）も挑戦し、大分県内では初めてとなる外国人合格者となりました。

鬼でコロナを撃退!



国际言語・文化学科の芸術表現コースの学生が、2017年より「写真をとりたくなる駅プロジェクト」として、別府駅にアート作品を展示しています。今年度は、金先生と絵画の長浜先生のデザイン、指導のもとにマンガと純アートを融合したアート作品を製作しました。疫病退散の願いを込めました。



Be-NewsはHPでもご覧いただけます。

本学HPでは、下記ページにてBe-NewsのPDF版を公開しています。バックナンバーもご覧いただけます。
<https://www.beppu-u.ac.jp/general/pr/>

Be-Newsへのご意見ご要望がございましたら、下記までご連絡をお願いいたします。
別府大学・別府大学短期大学部 広報室
〒874-8501 大分県別府市北石垣82
TEL: 0977-66-6262
E-mail: koho@nm.beppu-u.ac.jp

イラスト：佐藤 豊彦

「湯のまちべっぷ協働推進協定」を締結



日本の伝統的な発酵食品「味噌」の良さを見直してもらいたいと、佐伯市の食品関連企業ONOが、子ども向けに自宅で簡単に作れる「味噌キット」を開発しました。商品化にあたり、本学発酵食品学科の藤原秀彦教授が原料の配合などに協力し、国際言語・文化学科の中春茜音さんのパッケージデザイン(容器)も採用いただきました。味噌キットは、大分市内の飲食店などで販売されています。

硬式野球部の岩下さんが「首位打者賞」受賞



今秋開催された、「第104回九州地区大学野球選手権北部九州ブロック大会(1部)」において、本学公式野球部の岩下竜馬さん(国際言語・文化学科2年)が、打率5割の成績を残し、大会を通して最も打率の高い選手に贈られる「首位打者賞」を受賞しました。岩下さんは、「練習に励み、来シーンは優勝して全国大会へ行く」とさらなる高みを目指しています。

編集後記

今号の特集は、「ココロ」です。皆さん、いかがでしたか?「コロナ禍の「新しい生活様式」は、私たちに「ココロ」と向き合つ時間を多く与えています。課題も多く出てきましたが、新しい気づきも多かったかもしれません。その一つひとつを大切にしてください。(し)

地域連携



「野津原方言集」を電子テキスト化



野津原からZoomでつなぎ、学生が調査会のみなさんに研究発表しました



30年にわたり発行された「野津原方言集」
調査会事務局長の佐藤源治さんはじめ、調査会4名の方々にCD-Rを手渡しました

※支援主体:大学等による「おおいた創生推進協議会」令和2年実践型地域活動事業
採択事業名:「野津原方言調査会と学生との学術的な交流機会の創出～『野津原方言集』1～15巻の電子テキスト化による大分方言のオノマトペや感動詞のデータベースを収録したCD-R『野津原方言集電子版(試作品)』を制作しました。」

新発酵調味料「ととのみそ」開発プロジェクト

短期大学部食物栄養科では、大分県津久見市との連携で、水産物を原料とした発酵調味料「ととのみそ」の開発を行っています。通常、味噌は大豆を発酵させて製造しますが、「ととのみそ」は、大豆の代わりに水産物(マダイとケンサキイカ)を原料とし、麹を利用して発酵させて作ります。8月末に仕込んだ後、12月初旬に発酵を終了し、官能検査や検討会を行いました。今後、津久見市の新しい特産品となるよう商品化を目指していきます。



※本事業は「大学等による「おおいた創生」推進協議会実践型地域活動事業」の支援を受けています